

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	平成29年度第2回文化芸術に関する意見交換会
2 会議の開催日時	平成30年3月7日(水曜日) 午前10時00分から午前11時55分まで
3 会議の開催場所	ときわ会館5階 中ホール
4 出席者名	石上 城行委員長、赤津 郁江委員、 あらい 太郎委員、五十嵐 健一委員、 井藤 仁委員、大沢 英子委員、 久米 尚子委員、佐復 恵治委員、 茅野 憲一委員、長井 武志委員、 宮内 則幸委員、山田 登美男委員 他 事務局職員
5 欠席者名	石川 護副委員長、森口 達治委員
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) (1)国際芸術祭開催概要について (2)基金を活用した市民文化活動の支援事業について (公開・非公開の別) 公開
7 非公開の理由	
8 傍聴者の数	2人
9 審議した内容	(1)国際芸術祭開催概要について (2)基金を活用した市民文化活動の支援事業について
10 問合せ先	スポーツ文化局 文化部 文化振興課 電話番号 048-829-1226
11 その他	

平成 29 年度第 2 回文化芸術に関する意見交換会

次 第

平成 30 年 3 月 7 日(水) 10 時 00 分～
ときわ会館 5 階 中ホール

- 1 開 会
- 2 スポーツ文化局長挨拶
- 3 新規委員紹介
- 4 事務局紹介
- 5 テーマ
 - (1) 国際芸術祭開催概要について
 - (2) 基金を活用した市民文化活動の支援事業について
- 6 その他
- 7 閉 会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料 1 さいたま国際芸術祭開催概要
- ・ 資料 2 - 1 6 - 3 基金を活用した市民文化活動の支援の強化
- ・ 資料 2 - 2 市が行っている主な事業一覧
- ・ 資料 3 - 1 各施策の状況
- ・ 資料 3 - 2 事業数推移表
- ・ 資料 3 - 3 基本施策の体系
- ・ 資料 3 - 4 平成 29 年度施策一覧
- ・ 資料 4 意見書

文化芸術に関する意見交換会委員名簿

(敬称略)

		氏 名	所属団体等
1	委員長	いわがみ しろゆき	埼玉大学教育学部 准教授
		石上 城行	
2	副委員長	いしかわ まもる	公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団 業務執行理事兼総務部長
		石川 護	
3	委員	あかつ いくえ	株式会社JTB関東 法人営業埼玉支店 グループリーダー
		赤津 郁江	
4	委員	あらい たろう	北沢楽天顕彰会 理事
		あらい 太郎	
5	委員	いがらし けんいち	鉄道博物館 主任
		五十嵐 健一	
6	委員	いとう じん	岩槻人形協同組合 理事
		井藤 仁	
7	委員	おおさわ えいこ	公募委員
		大沢 英子	
8	委員	くめ なおこ	さいたま市美術家協会 評議員
		久米 尚子	
9	委員	さまた けいじ	公募委員
		佐復 恵治	
10	委員	ちの けんいち	公募委員
		茅野 憲一	
11	委員	ながい たけゆき	公募委員
		長井 武志	
12	委員	みやうち のりゆき	公募委員
		宮内 則幸	
13	委員	もりぐち たつじ	株式会社 FM NACK5 放送本部編成制作部担当部長
		森口 達治	
14	委員	やまだ とみお	日本盆栽作家協会 代表幹事
		山田 登美男	

(平成30年3月7日現在)

さいたま国際芸術祭開催概要

1 名 称

さいたま国際芸術祭 2020

※副題については開催計画策定時に決定

東京 2020 大会の文化オリンピックとして開催することにより、イベント価値の向上を図るなど、内外の情勢に柔軟に対応できるようにするため、原則 3 年ごとの開催としつつ、名称については「さいたま国際芸術祭」に変更します。

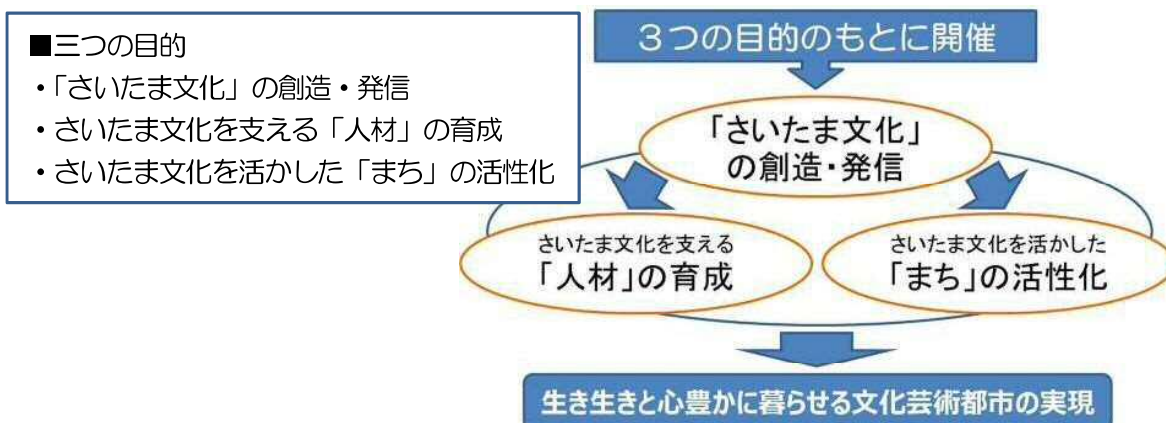
2 テーマ

※テーマについては開催計画策定時に決定

テーマについては、後述する公募による新しいディレクターが選定され次第、基本構想を踏まえ、新たに設置される有識者会議において協議のうえ決定することとします。

3 目 的

基本構想のとおり、開催目的は以下の 3 つとし、生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の実現をめざします。



4 会 期

平成 32 年（2020 年）3 月中旬～5 月中旬 [65 日間]

開催時期については、東京フェスティバル（仮称）との競合を避けるとともに、十分な準備期間を確保し広報を充実させるため、2020 年の春に開催し、東京 2020 大会の気運の醸成に資することとします。

5 会 場

大宮エリアと、その他2つの会場を想定

会場については、1エリアと2会場を想定します。

メインエリアには大宮区役所周辺地区を据えるとともに、商店街に作品を設置することやチケット提示により飲食店等の割引を適用するなど、人を呼び込む取組などを通じて、まちの活性化を図ります。

- (1) 大宮エリア（旧大宮区役所・旧大宮図書館・市民会館おおみや・山丸公園など）
平成31年春に閉館予定の大宮区役所をメイン会場とするとともに、同じく閉館予定の大宮図書館などの既存の建物を活用します。



◀大宮区役所

＜大宮区役所諸元＞

場所：さいたま市大宮区大門町3丁目1番地
建築：昭和41年11月（東館：昭和32年10月）
敷地面積：8717.2㎡
建物（本館）：鉄筋コンクリート造地上7階／地下2階
延床面積：11,526.68㎡
（東館）：鉄筋コンクリート造地上3階
延床面積：1,370.61㎡

- (2) 彩の国さいたま芸術劇場（中央区鈴谷）

前回も会場として使用された芸術のまち「与野」の象徴的な施設、彩の国さいたま芸術劇場を会場の1つとし、パフォーミングアーツを中心としたプロジェクトを実施することを想定しています。

彩の国さいたま芸術劇場▶



- (3) さいたま市文化センター（南区根岸）

浦和地区のメイン会場として、文化センターを活用し、主に市民プロジェクトのメイン会場とすることを想定しています。



＜さいたま市文化センター諸元＞

場所：さいたま市南区根岸1丁目7番地1
建築：昭和60年8月
敷地面積：16,344㎡
建物：鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階塔屋3階
建築面積：7,966㎡
延床面積：20,872㎡

◀さいたま市文化センター

6 事業展開

(1) アートプロジェクト・市民プロジェクト

現代アートにとどまらず、デジタル・アート、パフォーマンス、演劇、音楽などあらゆるジャンルの作品を展開するとともに、新作と旧作、若手による公募作品などバランスのよい構成を検討します。

また、現代アートと盆栽のコラボレーションによる作品の展示など、本市の文化芸術資源の活用を図るとともに、本市には多くの芸術家の方が居住していることから、そうした方々にも参加していただけるような取組を検討します。



▲若手の「目」による作品（前回出展作品）
レガシー作品としてプラザウェストに展示されているサイ▶



(2) 連携プロジェクト

国際芸術祭を市全体で盛り上げていくため、市内に所在する大宮盆栽美術館や鉄道博物館等の文化施設とコラボレーション事業を実施します。

さいたまゴールドシアター▶



(3) その他関連事業

前回のトリエンナーレの開催を契機として開始されたアーティスト・オン・サイトや大学コンソーシアムとの連携のように、市内企業、施設などで生まれる創造的活動を支援する取組をはじめ、アートを活用した産業振興（食のイベント）の取組、学校や子どもが参加しやすい取組を実施します。

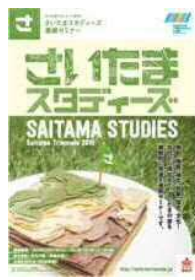


▲アーティスト・オン・サイト

(4) プレイベント・さいたまスタディーズ

プレイベントについては、大規模なものは実施せず、トークイベント等を中心に開催することとします。

また、さいたま市の歴史・文化等の地域資源を新たな視点で考察する「さいたまスタディーズ」を実施し、本市の魅力ある資源を作品制作などに還元します。



▲さいたまスタディーズ▶



7 主 催

さいたま国際芸術祭実行委員会

オールさいたまで取り組むという趣旨のもと、県、文化団体、経済団体、大学などの幅広い関係者の知見、人材、人脈、資金等の活用が見込めることから、今回についても、実行委員会形式とします。

また、東京 2020 大会文化オリンピックアードとして実施することにより、会場所在地自治体として東京 2020 大会の気運の醸成に貢献します。



■有識者会議の設置

基本構想及び開催計画等に関する議論や、アーティスト・行政双方の意見を調整する仕組みとして有識者会議を設置します。

有識者会議は、事業の実施段階においては、ディレクターと事務局との意見調整の機能も備えた会議とします。

8 ディレクター

企画提案方式による公募を実施

数ある国際芸術祭の中にあって、本市の独自性を高めるために、基本構想に掲げられた「人材」の育成という目的を踏まえ、地元出身の若手を採用することも視野に入れ、広く企画提案方式により公募することとします。

【公募要領作成における視点】

- ①市内に居住又は所縁を持つアーティストを積極的に活用すること
- ②地域の活性化に配慮したプロジェクトを企画すること
- ③学校や子どもが参加しやすい企画を組み込むこと

なお、若手の場合、人脈や力量が不足する可能性もあることから、サポートすることが可能な専門家を、後見役となる参与（有識者会議議長を兼務することを想定）として配置します。

9 事業規模

・5億～6億円程度を想定

第1回の経験を踏まえ、国際芸術祭としての質・量を確保しつつ、会期の短縮、会場を集約することにより事業費を圧縮します。

なお、入場料などの事業収入を検討するほか、文化庁の補助金などの公的な助成金等の活用や企業等の協賛・協力の募集など、様々な手段、方法による資金調達を行います。

■国際芸術祭開催想定スケジュール

	平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度				
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
全体		■補正予算 (12月)	■実行委員会設立 ■ディレクター 選任	■補正予算 (6月)				■開催概要発表 (第1弾)		■開催概要発表 (第2弾)				■実行委員会 解散(10月)
事業			企画体制構築・有識者会議の開催 開催テーマ・開催計画検討	■開催テーマ ■開催計画決定	さいたまスタディーズ			プレイベント開催						
制作				■参加アーティスト発表 (第1次)	アーティスト選定・作品制作準備			■参加アーティスト発表 (第2次)	作品制作		■参加アーティスト発表 (第3次)			
会場整備				会場使用調整・会場設計				会場整備・改修			撤去	原状回復		
広報・プロモーション				■開催計画発表会	広報・PR活動の実施			■開催概要	ガイドブック販売		さいたま国際芸術祭開催			
サポーター			■開催概要	ウェブサイト・SNSなどによる情報発信			協賛セールスの実施			市民サポーター募集・活動				
その他			■開催概要	制作サポ募集・活動			会場サポ募集・活動			補助金申請				
				補助金申請・報告						補助金報告				

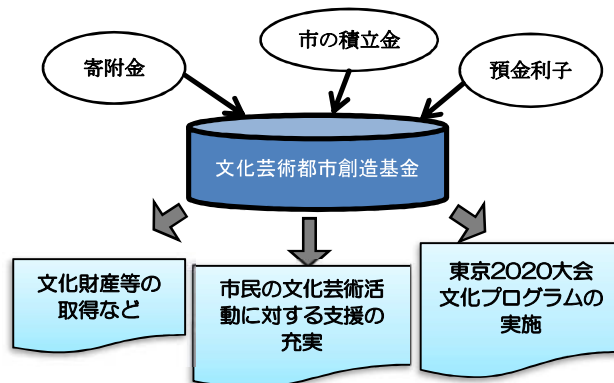
6-3 基金を活用した市民文化活動の支援の強化

概要（目的・目標等）

市民等が生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造のため、基金を活用して市民等の文化芸術活動の支援を拡充し、平成32年度までの累計で、基金を活用した文化活動の支援事業を20事業実施します。

（1）現状と背景

- 文化芸術施策の継続的かつ安定的な展開に必要な事業の経費に充てるための基金を平成26年度末に設置・管理運用を行い、文化財産等の取得、文化芸術関連事業の実施に基金を活用しています。
- 市民等からは、補助金制度の拡充や活動及び発表の場の確保、活動PRの支援などについての要望が寄せられています。
- 東京2020大会（注1）の会場関連自治体として、文化プログラムを実施する必要があります。



（2）各年度の取組内容と目標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
取組内容	国際芸術祭開催に向けた、市民等の文化活動の支援策の検討		国際芸術祭開催に向けた、市民等の文化活動の制度の拡充や、発表の場の確保等の支援事業の実施	
	アクション&レガシープラン(注2)の作成、周知		文化プログラム(注3)事業の実施	
目標	基金を活用した文化活動の支援事業の実施			
	支援策の検討	支援策の確定・周知	支援事業の実施(10事業)	支援事業の実施(10事業)

※ 各年度の取組内容は進捗状況等により見直す場合があります。

（3）市民満足度を更に高める取組

市民等のニーズを様々な角度から検討し、既存事業の拡充及び新たな支援事業を実施することで、文化芸術の振興を図ります。

(注1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

(注2) 東京2020参画プログラムのレガシーコンセプトを踏まえ、本市の取組の方向性を示すとともに、その具体化を目指すもの

(注3) IOCのオリンピック憲章において開催に当たり実施が義務付けられている文化的な事業

担当 スポーツ文化局 文化部 文化振興課 電話:048-829-1226

市が行っている主な事業一覧

資料2-2

1. 市民等の参加や鑑賞機会の提供を行うことで、文化芸術の振興を図る事業(文化振興課)

No	事業名	施策展開	対象	実施場所等	内容
1	さいたま市美術展覧会	1-1 4-2	15歳以上の市内在住、在勤、在学者(中学生除く)	うらわ美術館	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で、作品を募集し、審査員の選考により、入選及び褒賞を決定する。入選作品は、会期中うらわ美術館にて展示する。会期:10月9日～11月5日
2	さいたま市民文芸	1-1 4-2	15歳以上の市内在住、在勤、在学者	—	詩、短歌、俳句、川柳、小説・随筆・評論の5部門について、作品を募集。入賞作品・入選作品を決定し、入選作品を掲載した文芸誌を1,000部発刊する。刊行日:11月3日
3	鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェアでの鉄道文化啓発	1-1 5-4 重プロ3	—	大宮車両センター	大宮駅周辺で開催される「鉄道のまち大宮鉄道ふれあいフェア」のJR大宮総合車両センター会場においてブースを設け、鉄道文化を普及啓発するためのリーフレット・グッズを配布する。5月27日開催。
4	名曲コンサート	4-1	市内在住者	埼玉県産業文化センター(ソニックシティ)	(公財)埼玉県産業文化センター、(公財)日本フィルハーモニー交響楽団との共催により、日本フィルさいたま定期演奏会7公演を開催する。また、市民割引として、7公演計760席分、1枚につき1,000円を割引いて販売する。
5	プライマリーコンサート	2-1 2-2 4-1	市内在住、在学の小中学生	市立小・中・特別支援学校	(公財)埼玉県産業文化センター、(公財)日本フィルハーモニー交響楽団との共催により、市立小・中・特別支援学校を会場に、広く公開したプライマリーコンサート(小編成による地域での演奏会)を開催する。(H29は15校で開催)
6	ジュニアソロコンテスト	2-2 4-2	市内在住、在学の小中学生	予選:市内コミュニティセンター等 本選:文化センター	市内在住・在学の小中学生を対象に吹奏楽で使用する管楽器、打楽器・コントラバスの実演形式の独奏コンテストを実施。予選・本選を行い、優秀者を表彰する。(H29は予選:496名、本選:50名)
7	隈取り体験講座	2-2 3-2 4-2	市内在住の小学5・6年生及びその保護者	市内コミュニティセンター等	歌舞伎俳優の指導により、歌舞伎独特の化粧法「隈取(くまどり)」を体験する。(H29は市内在住の小学5・6年生及びその保護者15組が参加)
8	解説付きシネマ歌舞伎METライブビューイング 解説付き上映	3-2 4-1	市内在住者	MOVIXさいたま	市及び松竹株式会社による連携事業として、シネマ歌舞伎作品2回解説、METライブビューイング作品1回解説及び一般料金から400円の市民割引を実施する。
9	アート作品展示、維持管理事業	4-1	市民等	市内公共施設等	さいたまトリエンナーレ2016において、制作・展示された作品の中から、本市に相応しく、また一定期間の展示・鑑賞に堪える作品を市内公共施設など多くの市民等が集う場所に設置(維持管理)する。
10	アーティスト・オン・サイト	6-2 重プロ1	市民等	福祉施設等	アーティストが一定期間、福祉や医療、教育、企業などの現場に滞在し、現場との対話を重ねながら作品創作や発表などを実施する。
11	こども漫画教室	2-2 5-2 重プロ3	小学生	漫画会館	児童を対象に漫画に関する講座を開催する。(H29こども漫画教室 1回実施)
12	北沢楽天漫画大賞	4-2 5-2 重プロ3	—	—	国内外から一枚漫画作品を募集し、入賞作品をプロ漫画家をはじめとした審査員が選定する。(H29入選者85名)
13	収蔵品展・企画漫画展	5-2 重プロ3	—	漫画会館	北沢楽天関係作品、現代漫画家作品の展示を行う。(H29収蔵品展2回、企画漫画展1回実施)

2. 文化団体の活動支援を行うことで、文化芸術の振興を図る事業

(1) 補助金による支援

No	事業名	施策展開	所管課	対象	内容
1	文化芸術都市創造補助金	1-1 6-2	スポーツ文化局 文化部 文化振興課	市内文化芸術団体等	市内に事務所を置き活動する文化芸術関連団体が市内で実施する文化芸術都市事業に対し補助金を交付する。 ○文化芸術活動ステップアップ事業 限度額18万円 H29実績64団体 ○地域活性化事業 限度額200万円 H29実績7団体
2	さいたま市民音楽祭(補助金交付事業)	1-1 4-2	スポーツ文化局 文化部 文化振興課	さいたま市民音楽祭実行委員会	市内で活動している器楽団体(吹奏楽、オーケストラ、ギター、オカリナ、ピアノ等)がさいたま市文化センターにおいて、日頃の練習の成果を発表する演奏会を開催する。さいたま市民音楽祭実行委員会に対し、補助金を交付する。
3	さいたま市文化協会補助金	1-1	スポーツ文化局 文化部 文化振興課	さいたま市文化協会	市内で活動を行う文化芸術団体が加盟する「さいたま市文化協会」に対し、補助金を交付する。
4	緑区公民館活動文化団体交流事業(補助金交付事業)	1-1	緑区役所 区民生活部 コミュニティ課	緑区公民館文化団体連絡会書道展実行委員会ほか	緑区内の公民館で活動している文化団体の交流事業として、ロビーコンサート、絵画、写真、書道、工芸等のグループ合同展を実施する。

(2) 広報・情報提供の支援

No	事業名	施策展開	所管課	対象	内容
1	さいたま市民文化祭	1-2 4-3	スポーツ文化局 文化部 文化振興課	市内文化芸術団体等	10月～11月に、市内で開催される文化芸術関連事業を「さいたま市民文化祭」と称して実施してもらうとともに、(公財)さいたま市文化振興事業団が発行する情報誌SaCLa10月号「秋の特別号」に事業等の記事を掲載することで、広く市民に周知する。 H29実績 情報誌SaCLa10月号「秋の特別号」に28団体の事業を掲載している。
2	文化振興事業団ホームページでの団体紹介システム	1-2	さいたま市文化振興事業団	市内文化芸術団体等	市内活動中のサークル情報、SaCLaアーツ登録者のアーティスト情報をホームページにより広く発信する。
3	SaCLaアーツ	1-2	さいたま市文化振興事業団	市民、アーティスト等	さいたま市の文化芸術にかかわる人材情報を登録し、アーティストを呼びたい(指導してもらいたい)市民等と表現活動(講師含む)をしたい文化芸術団体(個人)との橋渡しを行う。 SaCLaアーツ 登録件数238件
4	生涯学習人材バンク	1-2	教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課	市民等	生涯学習に関する知識や技能を地域へ還元したい市民を講師として登録し、登録者と学習したい市民とのマッチングを行う。

(3) 活動場所の支援

No	事業名	施策展開	所管課	対象	内容
1	市民ギャラリーの活用	4-2	スポーツ文化局 文化部 文化振興課	市内在住の個人または市内文化芸術団体等	市民文化の向上のため、市役所東側広場にある市民ギャラリーを、日頃の活動成果を発表する場を無料で提供するとともに、市民が身近な場所で文化芸術活動の作品を鑑賞する機会を提供している。 H29実績 利用は月曜日から日曜日の1週間単位で年間52組利用見込み。
2	文化施設貸出事業	4-2	さいたま市文化振興事業団	市内文化芸術団体等	ホールや集会室等の貸出について利用促進を図る。
3	うらわ美術館貸館事業	4-2	教育委員会 生涯学習部 うらわ美術館	市民等	美術品などを創作している市民の発表の場として、1週間単位で展示室の貸出しを行う。対象期間は平成29年4月1日から4月10日までと、平成30年2月27日から3月31日まで。

平成29年度施策 各施策の状況

施策1 文化芸術都市の創造のために必要な文化芸術活動の促進（45事業）

1-1「文化芸術活動に関わる人材の育成・支援」は、芸術家に活動機会を提供する人材登録制度「S a C L a アーツ」やS a C L a サポーターズを活用し育成を図る事業、ボランティアを活用する事業「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェアでの鉄道文化啓発」などがあるが、具体的な取組のうち、「文化芸術団体の活動支援」が最も充実しており、「さいたま市民音楽祭（補助金交付事業）」や「文化芸術都市創造補助金」といった文化事業の実施に対する補助金の交付により、その活動の支援を行っている。また、市民とアーティストなど文化芸術に関わる関係者との交流活動の支援として、サポーターミーティングの開催やサポーター自主企画の促進を行う「サポーター支援」を実施する。

1-2「情報基盤の充実」は、紙面による情報提供は「さいたま市民文化祭」の1事業、その他は市や指定管理者のホームページによる情報提供が主となっている。

施策2 文化芸術に対する子どもの感性の向上（48事業）

2-1「子どもの文化芸術教育の推進」は、うらわ美術館や文化施設で行われているワークショップ・コンサート等の他、学校でプロの音楽を鑑賞できるプライマリーコンサートやアウトリーチコンサート等の事業がある。また、うらわ美術館において小・中学校の団体鑑賞の送迎や作品解説、鑑賞活動のサポートなどを行う「美術館鑑賞学習」が新たに実施される。大部分が音楽と美術の分野であり、幼児期のうちから文化芸術に触れる機会が提供されている。

2-2「子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実」は、事業数も多く、そのうち「子どもを対象にした鑑賞・体験機会の充実」は最も多い24事業であり、漫画会館の「こども漫画教室」や大宮盆栽美術館で盆栽文化を体験する「子ども向けワークショップ」といった、毎年行っている本市ならではの地域に根差した文化に関する事業があるほか、地域性を活かした事業を各区でも実施している。新規事業として、小学5・6生を対象とした「隈取り体験講座」、緑区では「選挙啓発ポスター絵画教室」を実施する。

施策3 伝統的・民俗的な文化芸術の継承と発展（20事業）

3-1「伝統的・民俗的な文化芸術の継承」は、伝統芸能の発表の場である「青少年による郷土芸能伝承活動補助金」等の青少年の活動に対する補助金交付による支援と、指

定管理者が行う人材育成事業、また、市民登録者と学習したい市民とのマッチングを行う「生涯学習人材バンク」を行っている。

3-2「伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実」は、そのほとんどが区役所が行っている事業である。「西区内散策交流事業」での祭囃子の披露や、「解説付きシネマ歌舞伎」の市民割引、新規事業である「隈取り体験講座」等を除くと、「まつり」によるものとなっている。

施策4 文化芸術に対する理解及び関心の促進（88事業）

事業数は、基本施策中、最も多い。4-1「鑑賞機会の充実」は、美術館やホールなど専用の場所での鑑賞事業に加え、区役所での絵画展示やロビーコンサート、図書館での文化財の展示等、文化施設以外での身近な場所においても事業が多数行われている。新規事業としては、市内文化施設等にアート作品の展示を行う「アート作品展示、維持管理事業」、西区の写真展、「MET ライブビューイング解説付き上映」の市民割引を実施している。

4-2「活動への参加機会の充実」は、事業数は多く、「さいたま市民文芸」や「ジュニアソロコンテスト」等、幅広い年代層の市民の文化芸術活動の発表や体験機会が多数提供されている。そのほか、新規事業として、小学5・6年生を対象とした「隈取り体験講座」を実施している。

4-3「鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供」は、ホームページによる情報提供のほか、定期発行の情報誌、市民文化祭参加事業を掲載する SaCLa10月号「秋の特別号」の発行など紙面による幅広い情報提供が行われている。また、さいたま市 PR キャラクター「つなが竜ヌウ」が市内商業施設コクーンシティにて市政情報を発信する「ヌウひろば in コクーンシティ」を新たに実施する。

施策5 地域に根ざした文化芸術に関する資源の発掘・保護・活用（71事業）

5-1「盆栽文化の振興」は、大宮盆栽美術館での盆栽の鑑賞・講座に加え、経済分野の所管課事業があり、例年どおり盆栽文化の国内外への発信につながる「大盆栽まつり」を実施したほか、平成29年度は世界盆栽大会が開催され、関連事業として「世界盆栽大会推進事業」といった大規模なイベント事業が行われているほか、盆栽の技術や文化を国内外に発信するための、「さいたま国際盆栽アカデミーの運営」を実施している。

5-2「漫画文化の振興」は、ユーモアをテーマとした「ユーモアフォトコンテスト」、「国際漫画フェスティバル」や「漫画の講演会・展示」といった事業が文化所管課と指

定管理者により実施されている。単年度事業である「開館50周年事業」が終了したため、事業数は1つ減ったが、漫画に関しては、さいたま市の魅力ある資源に位置付けられた4つの文化（盆栽・漫画・人形・鉄道）のうち、唯一、国内外に向けたコンテスト事業が行われている。

5-3「人形文化の振興」は、参加・鑑賞型である「城下町岩槻歴史散策」や「人形のまち岩槻まつり」等の事業が行われており、事業の多くは岩槻区内で行われている。

5-4「鉄道文化の振興」は、「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」や「親子で行く！大宮車両センター探検隊」などJR東日本と連携したイベントや、鉄道博物館とコラボグッズを作成する事業といった鉄道関係団体との連携があるのが特徴である。また、新規事業として、「鉄道のまち「大宮」てっばくナイトミュージアム」が実施されている。

5-5「多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用」は、昨年度と事業数はかわらず、施策5の全体の事業のうち35事業と約半数を占めている。地域や区ごとに開かれている文化まつりなどの郷土意識の醸成等を図る事業が主となっているが、市史編さん事業、サクラソウ関連事業や見沼通船堀閘門開閉実演事業、遺跡からの出土品展示等、本市の文化資源を活用した事業も行われている。

施策6 多様な文化芸術に触れる機会の提供（41事業）

6-1「文化芸術を通じた交流の推進」は、「さいたまトリエンナーレ2016」の終了に伴い昨年度より事業数は減少しているが、「第8回世界盆栽大会 in さいたま記念事業」として、能楽の体験型コンサートや和楽器のコンサート、折り紙やビーズで盆栽を作る講座等が実施される。また、昨年度に引き続き、アーティスト・オン・サイトの実施等、現代芸術の視点を取り入れた事業を行っているほか、「国際漫画フェスティバル」、国内友好都市や海外姉妹友好都市など既存の資源・交流を活かした事業を行っている。

6-2「文化芸術によるまちづくり」は、まつり等のイベントや文化芸術団体が行う事業への補助金が主な内容となっているが、その地域ならではの文化芸術資源を活かした事業として、「見沼田圃の保全・活用・創造事業」、城下町であった岩槻の「岩槻駅周辺地区まちづくり事業」における都市計画との連携等が見られる。

施策7 文化芸術活動の場となる施設の充実（15事業）

事業数は、基本施策中、最も少ない。7-1「文化芸術の活動の場となる施設の機能向上・充実」は、備品の充実、バリアフリー化、インターネットを通じた予約システムなどの利便性向上が引き続きみられた。

7-2「文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携」は、12事業であり、施設連携の部分については、民間施設や埼玉県、庁内各部署との連携によるチラシの相互配布や、大宮公園駅周辺の9施設が情報発信等において相互に連携する事業などが行われている。一方、文化センターの拠点機能の構築については、市民への情報提供、市民参加の講座実施にとどまっている。

重点プロジェクト1 文化芸術を活かしたまちの活性化（6事業）

重点プロジェクト1の主な取組は、次回の国際芸術祭に向けて事業目的・効果・内容を検討する。また、国際芸術祭の事業メニューとして、ひきつづき、「アーティスト・オン・サイト」の実施を通じ市民の創造活動の支援を行う。

また、文化芸術と産業の連携として、盆栽の技術や文化を国内外に発信するための、「さいたま国際盆栽アカデミーの運営」を行うとともに、伝統産業及び伝統産業事業所を指定するといった伝統産業の活性化事業を実施する。

重点プロジェクト2 文化芸術都市創造を担う人材の育成（4事業）

重点プロジェクト2は、芸術家に対する総合的な支援として「S a C L a アーツ事業」を実施し、文化芸術活動を支える人材育成としては、「S a C L a サポートーズ事業」等が行われている。

また、文化芸術活動をコーディネートできる人材の育成のため、次回国際芸術祭の開催を支えるサポーター（ボランティア）の活動を支援している。

重点プロジェクト3 さいたま市の魅力ある資源の活用と発信（27事業）

重点プロジェクト3は、魅力ある資源を活用した事業の推進として、本市の魅力ある資源である「盆栽」、「漫画」、「人形」については、それぞれの分野を所掌する所管課所室を中心に、企画展や講座といった各種事業が行われる。「鉄道」については、「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」に関連する事業のほかに、大宮区において「親子で行く！大宮総合車両センター探検隊」等の各種事業が実施される。

また、魅力ある資源の連携として、大宮盆栽美術館を会場に、「音楽」と連携した事業を実施するとともに、魅力ある資源の発信として、ウェブサイトを活用した情報発信、大宮盆栽を世界に発信する「世界盆栽大会」開催に伴う支援が行われている。

まとめ

基本施策、重点プロジェクトともに、関連事業が実施されていないものはないが、事業数という観点から見ると、施策ごとにばらつきが見られる。

基本施策においては、基本施策4「文化芸術に対する理解及び関心の促進」が88事業であるのに対し、基本施策7「文化芸術活動の場となる施設の充実」は15事業と、昨年度同様に最も事業数が少なく、今後の施策について検討する必要があると思われる。

また、基本施策に位置付けた「新たな視点」から見た事業の展開状況を見ると、教育や観光など「幅広い分野との連携」の面では、鉄道のまち大宮鉄道ふれあいフェアにおいて経済分野との連携が行われているほか、また、プライマリーコンサート、小学校における盆栽事業においては教育分野との連携が行われている。「関係団体との連携」の面では、JR 東日本や鉄道博物館との連携事業として、大宮総合車両センターの見学や鉄道博物館とコラボグッズを作成する事業、松竹株式会社との連携事業として、解説付きでシネマ歌舞伎、MET ライブビューイングを上映し、市民割引する事業などを行っているが、計画の目指す将来像である「まちづくり」の視点から、他の分野においても今後さらなる推進を図る必要があると思われる。

重点プロジェクトにおいては、重点プロジェクト1「文化芸術を活かしたまちの活性化」、重点プロジェクト2「文化芸術都市創造を担う人材の育成」とともに、アーティスト・オン・サイトの実施やサポーター支援を実施している。

重点プロジェクト3「さいたま市の魅力ある資源の活用と発信」については、「盆栽」、「漫画」、「人形」、「鉄道」といった資源の個別事業の実施は数多く行われているが、魅力ある資源の連携に関する事業は年々少なくなり、「大宮盆栽美術館でのロビーコンサート」だけであるため、今後は、どのように連携を進めるか検討する必要があると思われる。情報発信については、ウェブサイトや動画を使う、市内外におけるイベントでPRを行うなど多様な方法を活用しており、今後も引き続き国内外へ広く本市の魅力を発信していく必要があると思われる。

平成26年度から平成29年度 施策集 事業数推移

施策番号		H26		H27		H28		H29		H28からH29増減		増減の詳細		H28からH29 増減理由
		施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎	施策展開毎	施策毎	増	減	
1-1	文化芸術活動に関わる人材の育成・支援	35	41	38	45	41	49	37	45	△ 4	△ 4	シテリオペラ 手づくり音楽祭(補助金交付事業) 地域文化講演会(補助金交付事業) 緑区子どもまつり実行委員会(補助金交付事業)	隔年開催のシテリオペラが終了、また緑区による手づくり音楽祭、地域文化講演会、緑区子どもまつり実行委員会が、平成29年度は会場を確保することができず、事業中止となったため、事業数が減少となった。	
1-2	情報基盤の充実	6		7		8		8		0				
2-1	子どもの文化芸術教育の推進	13		13		14		14		0		新・美術館鑑賞学習(単)	大宮落語体験教室	新たに美術館鑑賞学習が事業開始されたが、大宮落語体験教室が平成28年度で終了となったため、事業数の変化はなかった。
2-2	子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実	33	46	36	49	35	49	34	48	△ 1	△ 1	新・限取り体験講座 新・選挙啓発ポスター絵画教室 新・美術館鑑賞学習(単)	大宮落語体験教室 地域文化講演会(補助金交付事業) 緑区子どもまつり実行委員会(補助金交付事業) 市内中学校吹奏楽部対象コンテスト	新たに限取り体験講座、選挙啓発ポスター絵画教室、美術館鑑賞学習の事業が開始、一方で大宮落語体験教室、緑区による地域文化講演会、緑区子どもまつり実行委員会、市内中学校吹奏楽部対象コンテストが、平成29年度は会場を確保することができず、事業中止となったため、事業数が減少となった。
3-1	伝統的・民俗的な文化芸術の継承	4		4		4		4		0				
3-2	伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実	14	18	16	20	16	20	16	20	0	0	新・限取り体験講座	大宮落語体験教室	新たに限取り体験講座が事業開始されたが、大宮落語体験教室が平成28年度で終了となったため、事業数の変化はなかった。
4-1	鑑賞機会の充実	34		33		32		33		1		新・アート作品展示、維持管理事業 新・西区写真展「わたしの好きな西区」 新・METライブビューイング解説付き上映	漫画会館開館50週記念写真展 西区写真展「写真で振り返る西区懐かしの風景」	漫画会館50周年記念写真展が終了、一方で芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、アート作品展示、維持管理事業、西区にまつわる写真展、METライブビューイング解説付き上映を実施することから事業数が増加となった。
4-2	活動への参加機会の充実	48	85	51	89	51	89	48	88	△ 3	△ 1	新・限取り体験講座	シテリオペラ 西区写真展「写真で振り返る西区懐かしの風景」 手づくり音楽祭 市内中学校吹奏楽部対象コンテスト	新たに限取り体験講座が開始、一方で隔年開催のシテリオペラ、西区の写真展が終了、また緑区による手づくり音楽祭、市内中学校吹奏楽部対象コンテストが、平成29年度は会場を確保することができず、事業中止となったため、事業数が減少となった。
4-3	鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供	3		5		6		7		1		ヌウひろばinコクーンシティ		ヌウひろばinコクーンシティを実施することから、事業数が増加となった。
5-1	盆栽文化の振興	8		9		11		9		△ 2		盆栽美術本の製作 盆栽庭園の改修		世界盆栽大会の開催に合わせ実施された、盆栽美術本の製作、盆栽庭園の改修が平成28年度で終了したため、事業数が減少となった。
5-2	漫画文化の振興	9		9		10		9		△ 1		漫画会館開館50週記念写真展		漫画会館開館50周年事業として実施された写真展が終了したため、事業数は減少した。
5-3	人形文化の振興	7	72	7	73	7	73	7	71	0	△ 2			
5-4	鉄道文化の振興	12		10		10		11		1		新・鉄道のまち「大宮」てっばくナイトミュージアム		鉄道のまち「大宮」てっばくナイトミュージアムを実施することから、事業数が増加となった。
5-5	多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用	36		38		35		35		0				
6-1	文化芸術を通じた交流の推進	6	35	8	37	17	45	14	41	△ 3	△ 4	第8回世界盆栽大会inさいたま記念事業×7	トリエンナーレ連携プロジェクト×9 トリエンナーレ市民プロジェクト	世界盆栽大会開催に伴い、様々な記念事業を実施、一方でさいたまトリエンナーレ2016開催に伴い実施された連携プロジェクト、市民プロジェクトが終了となったため、事業数は減少した。
6-2	文化芸術によるまちづくり	29		29		28		27		△ 1		緑区環境講演会実行委員会(補助金交付事業)		緑区環境講演会実行委員会について、平成29年度は講演会会場を確保できず、事業中止となったため、事業数は減少した。
7-1	文化芸術の活動となる施設の機能向上・充実	4	18	3	16	3	15	3	15	0	0			
7-2	文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携	14		13		12		12		0				
重1	文化芸術を活かしたまちの活性化	4	4	4	4	6	6	6	6	0	0			
重2	文化芸術都市創造を担う人材の育成	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0			
重3	さいたま市の魅力ある資源の活用と発信	27	27	30	30	27	27	27	27	0	0			
		350	350	367	367	377	377	365	365	△ 12	△ 12			

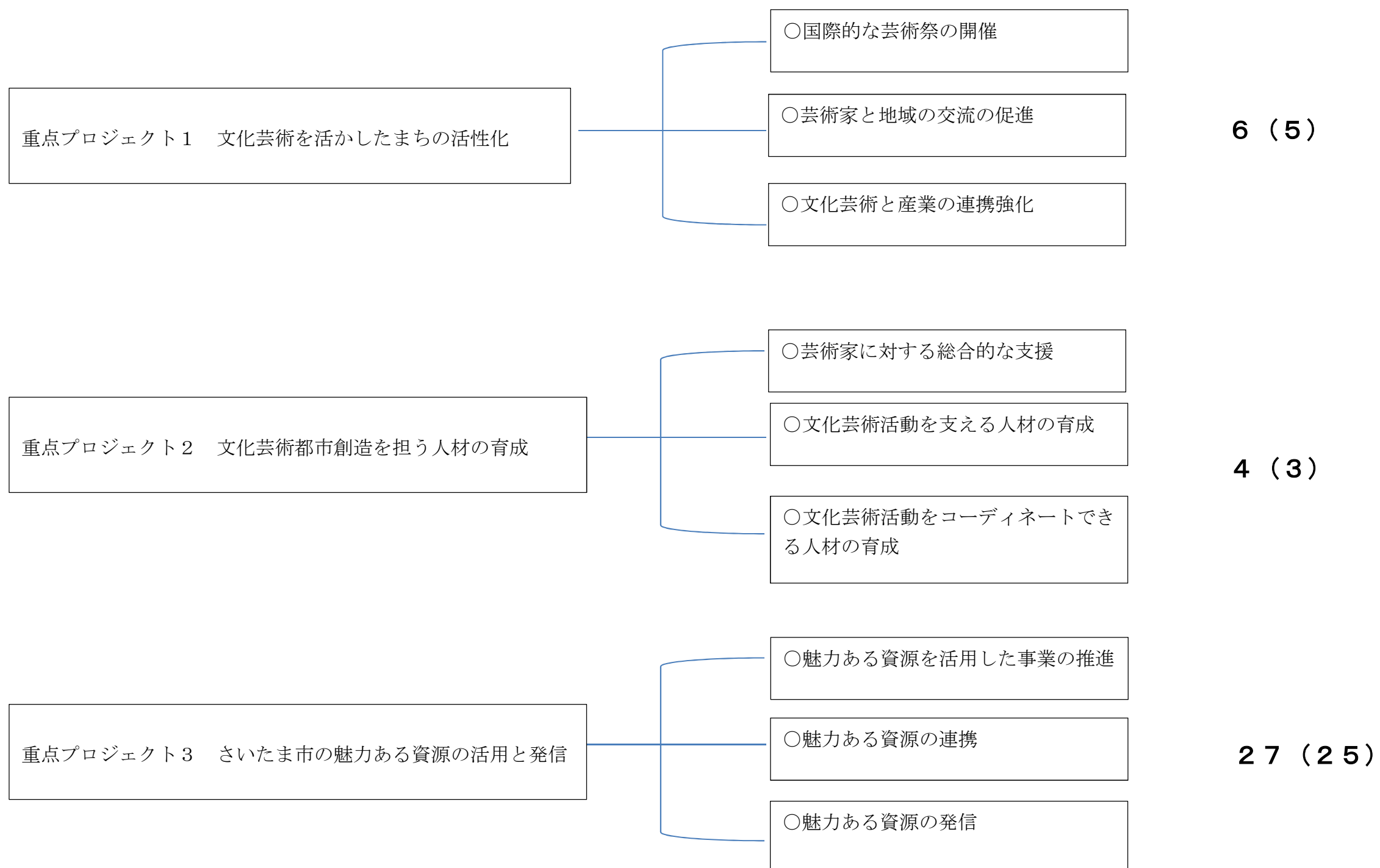
■基本施策の体系

右側の数字は事業数（カッコ内は再掲数）

基本施策	施策展開	具体的な取組	事業数
施策 1 文化芸術都市の創造のために必要な文化芸術活動の促進	1-1. 文化芸術活動に関わる人材の育成・支援	○芸術家の活動機会の充実 ○文化芸術事業の企画・運営に関わる人材の育成 ○文化芸術団体の交流の促進	45(7)
	1-2. 情報基盤の充実	○文化芸術に関わる人材・団体情報の収集・提供 ○文化芸術団体の情報発信に対する支援	
施策 2 文化芸術に対する子どもの感性の向上	2-1. 子どもの文化芸術教育の推進	○未就学児に対する鑑賞・体験機会の充実 ○学校等との連携を通じた文化芸術教育の推進	48(14)
	2-2. 子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実	○子どもを対象にした鑑賞・体験機会の充実 ○子どもを対象にした発表機会の充実	
施策 3 伝統的・民俗的な文化芸術の継承と発展	3-1. 伝統的・民俗的な文化芸術の継承	○後継者育成に対する支援 ○人材等の情報収集・提供	20(12)
	3-2. 伝統的・民俗的な文化芸術に触れる機会の充実	○伝統的・民俗的な文化芸術の鑑賞・参加機会の充実	
施策 4 文化芸術に対する理解及び関心の促進	4-1. 鑑賞機会の充実	○身近な鑑賞機会の創出 ○魅力ある文化芸術の鑑賞機会の提供	88(42)
	4-2. 活動への参加機会の充実	○発表機会の充実 ○体験機会の充実	
	4-3. 鑑賞・参加機会に関する情報収集・提供	○文化芸術事業に関する情報収集・提供	
施策 5 地域に根ざした文化芸術に関する資源の発掘・保護・活用	5-1. 盆栽文化の振興	○大宮盆栽美術館を拠点とした盆栽文化の振興 ○盆栽文化と触れ合える機会の拡充	71(48)
	5-2. 漫画文化の振興	○漫画会館等を活用した漫画文化の振興 ○漫画文化に関わる人材の育成	
	5-3. 人形文化の振興	○（仮称）岩槻人形会館の整備 ○人形に関わる産業の振興	
	5-4. 鉄道文化の振興	○鉄道博物館等との連携強化 ○鉄道文化に関する情報発信の強化	
	5-5. 多彩な文化芸術資源の発掘・保護・活用	○文化芸術資源を活かした事業の推進 ○文化財等の保存・継承	
施策 6 多様な文化芸術に触れる機会の提供	6-1. 文化芸術を通じた交流の推進	○国際的な文化芸術イベントを通じた交流 ○本市とゆかりのある都市との交流	41(23)
	6-2. 文化芸術によるまちづくり	○文化芸術資源を活かしたまちづくり ○文化芸術を活かしたまちづくり事業への支援	
施策 7 文化芸術活動の場となる施設の充実	7-1. 文化芸術の活動の場となる施設の機能向上・充実	○利用者や時代のニーズに合わせた施設機能の向上 ○利用者の利便性向上	15(1)
	7-2. 文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携	○拠点機能の構築 ○埼玉県や民間の文化関連施設との連携	

■重点プロジェクト

右側の数字は事業数（カッコ内は再掲数）



平成29年度施策一覧

185

15

26

365

10

2

2

10

17

1

1

1

1

1

10

1

2

3

1

2

1

22

1

4

No	局区	部	課	事業名	新規事業	補助金交付事業	○の数
77	大宮区役所	区民生活部	総務課地域商工室	大宮日進七夕まつり(補助金交付事業)		○	4
78	大宮区役所	区民生活部	総務課地域商工室	みやはらまつり(補助金交付事業)		○	4
79	大宮区役所	区民生活部	総務課地域商工室	スパークカーニバル(補助金交付事業)		○	3
80	大宮区役所	区民生活部	総務課地域商工室	中山道まつり(補助金交付事業)		○	3
81	大宮区役所	区民生活部	総務課地域商工室	大盆裁まつり(補助金交付事業)		○	2
82	大宮区役所	区民生活部	コミュニティ課	アートフルゆめまつり(補助金交付事業)		○	3
83	大宮区役所	区民生活部	コミュニティ課	親子で行く！大宮総合車両センター探検隊			3
84	大宮区役所	区民生活部	コミュニティ課	鉄道関連イベントへの参加			2
85	大宮区役所	区民生活部	コミュニティ課	プロ音楽家によるコンサートとジュニア・プラス・クリニック			2
86	大宮区役所	区民生活部	コミュニティ課	鉄道文化の振興(ふるさとづくり事業)			2
87	大宮区役所	区民生活部	コミュニティ課	鉄道のまち「大宮」てっぱくナイトミュージアム	新		1
88	見沼区役所	区民生活部	総務課	見沼区ミュージアム			1
89	見沼区役所	区民生活部	コミュニティ課	見沼区のシンボル絵画展			2
90	見沼区役所	区民生活部	コミュニティ課	見沼区ふれあいフェア(補助金交付事業)		○	3
91	見沼区役所	区民生活部	コミュニティ課	見沼区文化まつり(補助金交付事業)		○	2
92	中央区	区民生活部	総務課	区管内観光団体特別支援事業(補助金交付事業)		○	3
93	中央区	区民生活部	総務課	区民ギャラリー			3
94	中央区	区民生活部	コミュニティ課	ロビーミニコンサート			2
95	中央区	区民生活部	コミュニティ課	バラのまち中央区アートフェスタ(補助金交付事業)		○	4
96	中央区	区民生活部	コミュニティ課	バラのまち中央区の花バラの写真展			2
97	中央区	区民生活部	コミュニティ課	さいたま市中央区区民まつり(補助金交付事業)		○	3
98	中央区	区民生活部	コミュニティ課	彩の国さいたま芸術劇場出演者手形・レリーフ設置事業		○	2
99	桜区役所	区民生活部	コミュニティ課	区民ふれあいコンサート			2
100	桜区役所	区民生活部	コミュニティ課	桜区区民ふれあいまつり		○	3
101	桜区役所	区民生活部	コミュニティ課	桜区サクラソウ写真コンクール			2
102	浦和区役所	区民生活部	コミュニティ課	浦和区絵画作品展			2
103	浦和区役所	区民生活部	コミュニティ課	浦和区民まつり		○	3
104	南区役所	区民生活部	コミュニティ課	南区ふるさとふれあいフェア			1
105	南区役所	区民生活部	コミュニティ課	南区魅力あるまちづくり推進事業			1
106	緑区役所	区民生活部	総務課	選挙啓発ポスター絵画教室	新		1
107	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	子ども絵画教室(補助金交付事業)		○	2
108	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	東浦和駅前クリスマスツリー点灯式実行委員会(補助金交付事業)		○	2
109	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	緑区オープンガーデン(補助金交付事業)		○	1
110	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	緑区かかしランド実行委員会(補助金交付事業)		○	3
111	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	緑区区民まつり実行委員会(補助金交付事業)		○	4
112	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	緑区公民館活動文化団体交流事業(補助金交付事業)		○	1
113	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	緑区たこ揚げ大会(補助金交付事業)		○	2
114	緑区役所	区民生活部	コミュニティ課	緑区ホテル観賞事業(補助金交付事業)		○	1

施策6 多様な文化芸術に触れる機会の提供			施策7 文化芸術活動の場となる施設の充実			重点プロジェクト1 文化芸術都市創造を活かしたまちの活性化			重点プロジェクト2 文化芸術都市創造を担う人材の育成			重点プロジェクト3 さいたま市の魅力ある資源の活用と発信								
6-1 文化芸術を通じた交流の推進			6-2 文化芸術によるまちづくり			7-1 文化芸術活動の場となる施設の機能向上・充実			7-2 文化芸術都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携											
1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
国際的な文化芸術イベントを通じた交流	多様な芸術家と地域の交流	本市とゆかりのある都市との交流	文化芸術資源を活かしたまちづくり	文化芸術を活かしたまちづくり事業への支援	利用者や時代のニーズに合わせた施設機能の向上	利用者や時代に合わせた施設機能の向上	利用者や時代に合わせた施設機能の向上	利用者や時代に合わせた施設機能の向上	利用者や時代に合わせた施設機能の向上	利用者や時代に合わせた施設機能の向上	利用者や時代に合わせた施設機能の向上	国際的な芸術祭の開催	芸術家と地域の交流の促進	文化芸術と産業の連携強化	芸術家に対する総合的な支援	文化芸術活動を支える人材の育成	文化芸術活動をコーディネートできる人材の育成	魅力ある資源を活用した事業の推進	魅力ある資源の連携	魅力ある資源の発信

平成 30 年 3 月 7 日
文化芸術に関する意見交換会
意見書

さいたま市文化振興課 宛
〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-4
ファックス 048-829-1996
メール bunka-shinko@city.saitama.lg.jp
* 3 月 2 2 日 (木) までに御提出ください。

1 さいたま国際芸術祭（開催概要）について

2 基金を活用した市民文化活動の支援事業について

3 施策集について

御名前 _____